



窓を閉じるにあたって



町長 大谷 隆 照

今回でこの窓も最終回となりま

す。4月末日で町長を辞任させていただくことになりましたが、このことについては過日の新聞で報道されたとおり、体調の不良ということが最大の理由です。任期半ばでの辞任ということに対して、住民の皆さまには誠に申しわけなく思っています。

私は、3選目に出るとき当分の間単独運営という方向を出させていただきました。そして、改革プランにのっとった改革路線も軌道にのり、単独でやっていける道筋はつけられたと思っておりますので、その点では住民の皆さまに安心していただけると思っております。

五霞町はいつも申し上げていることですが、小さいけれど中味の詰まっている町だと思います。基本的なインフラ整備はほぼ終わっています(幹線道路網、上水道、下水道、学校の耐震工事等)。財

政力指数0・809が物語るよう

に自主財源もそれなりにあります。基金もまだ17億円程度(平成17年度決算)あります。事件・事故の比較的少ない町です。児童・生徒においては学力面のみならず、さまざまな面での伸びは顕著なものがあります。自主的な文化活動もかなり定着してきていると思います。道の駅導入をきっかけに農業にもある程度活気がでてきたと思います。

圏央道IC周辺開発については、公約としてかかげながら、全く見直しをつけることができなかつたことは大変申しわけなく思っています。しかし、圏央道は必ずできるわけですから、ねばりづよく取りくめばできると思いますし、それが五霞町の更なる飛躍の大きな要因になることはまちがいありません。

私が町長として常に考えたことは、日本国憲法のもつ平和主義・国民主権・基本的人権の尊重とい

うこの3つの柱をどのようにして町の行政に反映させていくかということでした。

平和主義ということは、行政運営の面からいけばあらゆる場面において和を大事にするということだと思えます。そのことがひいては安心・安全な町づくりにつながってくると思っています。

国民主権ということとは、行政でいえば、住民サービスを第一とする住民のための行政を徹底させるということだと思えます。その中には情報を公開し、情報をみんなで共有するということも含まれてきます。行政懇談会はその具体的な現れのひとつということがいえると思えます。

基本的人権の尊重は、具体的に、たとえお金がなくても、ひとりきりになっても、寝たきりになっても、どんな状態になってもこの町だったら安心して生きていけるという状況をつくりだすことだと思えます。

もちろん、3割自治といわれる

ように町独自でできる部分はきわめて限られています。住民の皆さまからみれば全く満足のいくものではなかったと思えますが、私としては憲法をよりどころとして町政運営にあたる努力をしてきたということをお分かりいただきたいと思うのです。そして私が今一番危惧していることは、この憲法

の精神が変えられる恐れがでてきたということです。憲法の文言等が修正されるのは一向にかまいませんが、人類の共通理念ともいえるこの世界に誇れる日本国憲法の精神を変えることは許されないと思うのです。

五霞町の更なる発展と、皆さまのご健勝を心よりご祈念申し上げます。この窓を閉じさせていただきます。

今回窓を閉じるにあたって、町長就任以来掲載させていただいた「窓」を小冊子にして、近日中に皆様のご家庭へ配布させていただきます。

お待ちしております

広報ごかでは、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先 町長(直通) ☎(84)1550
企画調整課広報担当
☎(84)1111(内線228)

人口と世帯 (2月1日現在)

総人口	9,954人 (-15)
男	5,024人 (-9)
女	4,930人 (-6)
世帯数	2,999世帯 (-3)

(内は前月比)

3月の納税

保育料	3月分
-----	-----